

◆としょかんフェスティバル

とき 11月9日(土)、10日(日) 午前9時30分～午後4時

ところ 図書館子ども読書支援室「えほんの森」・図書館学習室・郷土資料館

主催 高浜市立図書館 共催 高浜市図書館ボランティア連絡会

内容

- ・9日(土)…手遊び、絵本の読み聞かせ、バルーンアート、女声コーラス、おはなし会「斎藤隆介の世界を読む」、パネルシアター、大型紙芝居の上演、工作、図書のリサイクルバザー、雑誌の無料配布
- ・10日(日)…ヘアアクセサリーづくり、絵本の読み聞かせ、パタパタえほんづくり、伊勢型紙の影絵紙芝居の上演、笑顔の写真展表彰式、ゴスペルコンサート、たこづくり、図書のリサイクルバザー、雑誌の無料配布

対象 幼児～一般

参加費 無料(一部材料費の必要なイベントあり)

※内容の開催時間や詳細は、チラシや図書館ホームページなどで確認してください。

◆としょかんフェスティバル内イベント「おりがみでたこづくり」

とき 11月10日(日) 午後1時30分～3時

ところ 図書館学習室

内容 小さな子どもでも簡単に作れるおりがみを使ったたこを作ります

講師 神谷純一氏、間瀬光弘氏

対象・定員 幼児(保護者同伴)～小学生20人(先着順)

参加費 100円

申込方法 10月19日(土)より直接または電話で申込

◆図書のリサイクルバザーについて

11月9日(土)、10日(日)開催のとしょかんフェスティバルで行う図書のリサイクルバザーにともない、不要となった図書の回収を行います。としょかんフェスティバルの際、回収した図書を販売し、売上は市民の皆さんの読書活動に還元します。

とき 10月20日(日)

午前10時～正午／午後1時～3時

ところ 図書館2階郷土資料館

※いたみの激しいもの、落書きのあるもの、CD・ビデオ、雑誌や教科書類、図鑑・百科事典は対象外

高浜市教育基本構想の 実現に向けて②



～高浜を愛し、高浜の良さを学んで高浜でたくましく生きる未来市民の育成～ 「幼・保、小、中一貫教育の推進」

Q 「高浜市教育基本構想」によって、高浜市の教育はどのようにすすんでいくの？

A 義務教育期間である小学校6年間と中学校3年間だけでなく、就学前である幼稚園・保育園の3年間を「学びや育ちの基盤づくりの時期」として重視し、合計12年間の学びや育ちをつなげる「幼・保、小、中一貫教育」を推進していきます。

Q 何のために一貫教育をするの？

A 一貫教育の最大のねらいは「確かな学力」と「発達段階に応じた資質・能力の育成」です。高浜市内すべての幼・保、小、中教職員一人ひとりが、子どもの発達段階を見とおした系統性を意識した教育活動を行うことにより、身につけるべき時期に身につけるべき力を確実につけていくことをめざします。

例えば、小学校4年生で身につけるべき学力、体力、道徳性を確実に身につけてから5年生につないでいるかといった「学年のつなぎ」を大切にしながら教育活動を進めます。また、幼稚園・保育園を卒業するまでに身につけること、小学校や中学校を卒業するまでに身につけることを、きちんと身につけてから上級学校につないでいるかといった「園や学校間のつなぎ」を大切にします。

教職員一人ひとりが各園・学校のそれぞれの教育観や指導方法の違い、幼児・児童・生徒のようすなどを正しく理解したうえで、「12年間の学びと育ちを切れ目なくつなげる。」という意識を共有することです。これにより目の前の子どもたちのための1年間に責任を持って教育活動を推進していくことが、「確かな学力」や「発達段階に応じた資質・能力」の育成につながっていきます。

問合せ先 困教育センターグループ ☎52-1111(内線311)